

[骨全身スキャン] に関するご案内**1 医療行為名：骨全身スキャン****2 検査の説明**

核医学検査とは、微量の放射性同位元素（RI）を含んだ放射性医薬品を使う検査です。この薬品を体内に投与すると、特定の臓器や組織に取り込まれ、そこで放射線を出します。それをガンマカメラと呼ばれる特別なカメラで測定し、その分布を画像化します。CT・MRI・単純写真では主に形態評価を行うのに対し、この検査は臓器・組織の機能評価ができます。骨全身スキャンでは、骨病変の分布・局在や骨代謝機能亢進もしくは低下病変を検出します。

- ・ 静脈注射の後、薬が骨に集まるまで2時間以上の待ち時間があります。
- ・ 検査時間は20分程かかります。
- ・ 薬が尿中に排泄されますので、尿が膀胱に残っていると正確な写真が撮れません。検査開始の10分程前に検査室内のトイレで排尿してください。

3 検査における注意点

放射線を出す物質を用いて検査を行うため、放射線被ばくを受けます。妊娠中及び授乳中の婦人は原則として検査を控えた方がよいでしょう。被ばく線量は投与量に比例し、この検査では約2.2mSvです。（自然界から受ける年間放射線量：2.4mSv、胸部単純検査：0.05mSv、胃透視検査：4mSv、体幹部CT：20mSv程度です。）この検査で不妊になることはありませんし、妊娠中に検査を受けられても胎児に奇形などの影響が発生する事はありません。副作用として、アレルギー反応や消化器症状、血圧低下、薬品臭、口内苦味感などの報告がありますが、それらの発現頻度は極めて稀です。

4 この医療行為を行わなかった場合の利益と危険性

放射線による被ばくは避けられます。しかし病状を正確に診断することができなくなる場合があります。

5 その他

突然の事情で来院できない場合、交通事情により予約時間に間に合わない場合は、分かった時点で岐阜市民病院アイソトープ検査室まで必ずご連絡ください。また、患者さん都合による当日のキャンセルは、検査薬の費用をご負担していただくことがあります。

【連絡先】

岐阜市民病院 アイソトープ検査室
(058) 251-1101 (内線 4153)